

福 議 委 号
令和 2 年 9 月 2 日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

経済福祉常任委員会
委員長 佐藤 孝男



所管事務調査報告書の提出について

本委員会は、令和2年6月22日福島町議会定例会6月会議において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第148条の規定により、下記のとおり報告する。

記

調査事件	5 町立診療所の経営状況について
調査期間	令和2年8月31日（1日間）
出席委員	副委員長 藤山 大 委 員 平沼 昌平 委 員 小鹿 昭義 委 員 平野 隆雄 委 員 溝部 幸基
欠席委員	委員長 佐藤 孝男
出席説明員	町 長 鳴海 清春 副町長 工藤 泰 福祉課長 鍋谷 浩行 町民課長補佐 吉澤 裕治
議会事務局職員	事務局長 阿部 憲一 係 長 福井 理央 主 査 中島 和俊

[委員会意見]

調査事件 5 町立診療所の経営状況について（令和2年8月31日調査）

国民健康保険診療所「やまゆりクリニック」は、木古内町から光銭医師を招聘し、平成30年6月15日に開院、現在、医師・看護師など7名体制で運営している診療所である。

開院後2年が経過したことから、現在の経営状況等を町から提出された関係資料に基づき調査したので、調査結果を次のとおり報告する。

【論点とした調査項目・意見】

1 医薬材料等について

医薬品の発注・管理については、診療所医師の指示の下、適切に管理しているとのことだが、資料に基づく説明・答弁では、管理状況を十分把握できていないと思慮される。専任事務局長の未配置とはいえ町立診療所であることから、診療業務等を委託している医師任せにすることなく、担当課として責任をもって現状をしっかりと把握するべきであると思慮する。

また、人口減少傾向、函館・木古内・松前医療機関が積極的な通院補助対策を講じている状況を厳しく踏まえ、医師が診療に専念できる環境を整え、町民の健康維持にさらに寄与する診療所体制を整備し、健全経営を目指すためにも、医薬分業について検討を進められたい。

2 今後の経営安定化に向けた取り組みについて

町では、診療所開業後、看板の設置や町内会での健康相談会の実施、患者の利便性向上のための温泉バスを活用した送迎の実施等、各種対策を講じているが、特色ある町立診療所を目指し、家族・町内福祉事業所・町立診療所が綿密に連携できる「訪問診療の構築」など福島町に合った経営をさらに検討し、実施するべきと思慮する。

3 町立診療所利用促進のための周知方法の検討について

町立診療所の診療科目は、内科・小児科・消化器内科、禁煙外来、また、検査機器充実により各種検査や人間ドックを実施しているが、長所や得意分野などを院長と協議のうえ、町民に向けたPRをさらに強化し、利用促進を図られたい。

4 総括的意見について

診療所会計の単年度収支は、一般会計に措置される普通交付税分を補填しても赤字となっている。

健全経営化についての分析では本来想定すべき資産償却には触れていないが、初期投資、今後の建物・設備の維持補修や検査器具・機器類等更新等を想定した場合、さらに特別会計への一般会計繰出しが増加することが想定される。一人でも多くの町民の診療所利用を目指しながら、経常経費削減を進めざるを得ない厳しい現況にあると思慮する。

このため、診療所医師との事務連携や町民利用のPR方法の検討等を強化し、身近な診療所として健全な経営を鋭意進められたい。